

会 議 録

1 会議名

平成 28 年度上越市美術資料収集委員会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 平成 28 年度美術資料の収集について（非公開）
- (2) 今後の美術資料収集計画について（非公開）

3 開催日時

平成 29 年 2 月 28 日（火）午後 2 時から

4 開催場所

小林古径邸画室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

議題(1)及び(2)については、上越市情報公開条例第 7 条第 2 項の個人情報及び同条第 4 項の意思形成過程情報に該当することから非公開とした。

7 出席した者 氏名（敬称略）

- ・ 委員：伊藤将和、太田将勝、松尾大介
- ・ 欠席者：永井信一
- ・ 事務局：宮崎館長（総合博物館・小林古径記念美術館）、笹川資料係長（小林古径記念美術館）、市川主任（小林古径記念美術館）

8 発言の内容

開 会

（あいさつ）

（笹川係長）：本日はご多用のところご出席をいただき感謝申し上げます。現在、総合博物館改修事業及び小林古径記念美術館増改築事業を行っており、通常の館運営とは異なっているため、第 1 委員のみでの委員会を開催する。今回は永井委員が欠席という連絡が入っており、「上越市美術資料収集委員会設置要綱」第 4 条第 2 項の規定により、会議の開催条件を満たしているため、本委員会を開催する。本日の会議は上越市審議会等の会議の公開に関する条例第 7 条第 2 項の個人情報及び同条第 4 号の意思形成過程情報に該当することから非公開である。

（宮崎館長）：本日はご多用の中お集まりいただき感謝申し上げます。美術館の運営にとって「作品収

集」は、その後の研究・展示につながってくる重要な要素である。残念ながら、平成25年度の小林古径《牡丹》（絶筆）の購入を最後に、収集予算はついていない。今回お諮りするのには、作品寄贈・寄託のケースとなる。美術館は昨年11月から博物館のリニューアル工事にともない、長期休館に入った。古径邸は開館しているが、当館は平成32年のオープンを目指して基本設計が終了したところである。休館の間に活動の柱を作る重要な時期である。新聞の報道等でご存知の方もいると思うが、総合博物館では、国宝の太刀購入について、昨年度、上越市博物館協議会の方で答申をいただいた。ここで皆さんに悲しいお知らせがある。美術資料収集委員会の座長を務めていただいた池田稔氏が昨年7月に88歳で逝去された。長年、上越市美術協会の会長を務められ、職を退いた後、間もなく亡くなった。長年、上越市の文化芸術に寄与して下さった。

(1) 平成28年度美術資料の収集について（非公開）

(2) 今後の美術資料収集計画について（非公開）

(あいさつ)

(宮崎館長)：本日はご多忙の中ご出席いただき感謝申し上げます。委員の皆さまから寄贈・寄託作品について審議いただき、多くの示唆をいただいた。長期休館中にできることはたくさんあるので、収集や調査研究の部分を大切にしながら、美術館活動を進めてまいりたい。

(閉会)

9 問合せ先

小林古径記念美術館 TEL：025-523-8680

e-mail：kokei@city.joetsu.lg.jp